

第1学年 組 音楽科学習指導案

指導者

- 1 題材 ばめんのようすをおもいうかべながらうたおう
- 2 教材 「はる なつ あき ふゆ」 三浦 真里 作詞・作曲
- 3 指導に当たっての考え方

教材分析		
<p>楽曲「はる なつ あき ふゆ」は、生き物や自然の様子から四季折々の情景を歌った曲である。</p> <p>特徴的な要素は以下の通りである。</p> <p>歌詞 : たんぽぽがゆれ、わたげがふわりととぶやわらかい「はる」。大きなくじらがざぶんともぐる元気な「なつ」。こりすがちよりとお出かけするかわいらしい「あき」。小さな星が光り、北風が冷たい静かな「ふゆ」。このように、四季ごとの特徴的な情景が描かれており、季節の変化をとらえやすい歌詞になっている。</p> <p>リズム : 8分音符の繰り返しになっている。</p> <p>旋律 : そのほとんどが順次進行となっている。</p>	<p>以上のような教材であるので、四季それぞれの様子を思いうかべてイメージをふくらませながら、歌い方を工夫することができる考える。</p>	
児童の実態		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 口を大きく開けて、自然と体を動かしながら楽しそうに歌ったり、「もっと歌いたい。」など意欲的に活動に取り組んだりする子どもの姿が見られる。しかし、中にはまだまだ歌に対して苦手意識をもつ子どももいる。 ○ 主に歌詞から曲の気分を感じ取り、強弱や速さを工夫して歌うともっと楽しい気分になるなどということが分かってきている。しかし、それらの表現の工夫は十分ではなく、考えられる子も少数である。 ○ 歌う時の姿勢、音程やリズムを正しく歌うなどの基礎的な表現技能については少しずつ身につけてきている。 		
指導内容	自分の思い	支援
<p>季節ごとの特徴的な情景を歌った曲であることをふまえ、歌詞の表す情景を思いうかべながら歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい歌詞、音程で歌うこと ○ やわらかい「はる」の様子を思いうかべながら歌うこと <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>それぞれの季節の様子に合った表現の仕方を工夫すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節あてゲームなどから感じ取ったことをもとに、季節の様子に合った歌い方の工夫をすること ○ 身体表現やペープサートを取り入れながら表現の工夫をしていくこと <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>それぞれの季節の様子を思いうかべながら歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに聴き役をたててお互いの声を聴き、工夫した歌い方ができていたか、またそのよさを感じながら聴くこと 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 2px 10px;">つかむ</div> <ul style="list-style-type: none"> ・春、夏、秋、冬のことと歌われているよ。 ・それぞれ違った歌い方をしたいな。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 2px 10px;">深める</div> <ul style="list-style-type: none"> ・春はやわらかく歌ったから、夏は元気に秋はかわいらしく、冬は静かに歌うといいよね。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 2px 10px;">味わう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・季節にあった歌い方をすると楽しかったね。 ・工夫して歌うとおもしろいね。 	<p>曲の気分や特徴を聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ より意欲的に旋律をとらえ、歌詞の内容をつかませるため、季節あてゲームをして範唱CDを聴く活動 ◎ 次時学習への思いを抱くため、教師の範唱を聴き比べる活動 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 歌い方を変えた教師の範唱を聴き比べる活動、聴き取る活動 ○ 身体表現をしながら聴く活動 ○ ペープサートを動かしながら聴く活動 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>思いを込めた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 2つのグループに分かれて、聴き役をたててなど交流しながら聴き合う活動
題材目標		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽曲の気分を感じ取り、春・夏・秋・冬の様子を思いうかべながら歌おうとしている。(関心・意欲・態度) ○ 様子を思いうかべ、その様子や歌詞に合った歌い方を工夫することができる。(感受・表現の工夫) ○ 自分の歌声や発音に気をつけて、正しい音程で歌うことができる。(表現の技能) 		

5 本時 つかむ・深める段階（1／2） 10月 日 校時（1年 組教室にて）

6 本時の目標

曲の気分を感じ取り、「はる」の「たんぼぼ ゆれる」や「わたげが ふわり」の様子を思い浮かべ、その様子に合った歌い方の工夫をして歌うことができる。

7 準備 教師：伴奏・範唱CD，拡大歌詞・歌詞カード，情景画（はる，なつ，あき，ふゆ）
ペープサート（たんぼぼ，わたげ）


8 本時指導の考え方

本時は、曲の気分を感じ取り、正しい歌詞や旋律で歌い、「はる」の歌詞の様子に合った歌い方を工夫して歌うことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、【きせつあてゲーム】をしながら楽曲「はる なつ あき ふゆ」に出会わせる。その際「はる」からではなく「なつ」から聴かせることで、より興味をもって聴くことができるようにする。集中してくり返し聴かせることで、いつの間にか正しい歌詞や正しい音程をとらえて歌うことができるようにしたい。

【きせつあてゲーム】について

ねらい	指導工夫	期待する子どもの様子
興味をもって楽曲と出会わせるとともに、旋律をとらえ、歌詞の内容をつかませた上で、表現への思いをもたせる。	<ul style="list-style-type: none">・聴かせる季節の順番を変える。 →集中して聴こうとする。・季節の理由となる歌詞を見つけさせる。 →歌詞に気をつけて聴こうとする。・季節みつけの話し合いをする。 →歌詞の内容について詳しく考える。 	<ul style="list-style-type: none">・「なつのうみ」って聴こえたよ！だから夏じゃないかな？・「たいよう きらきら」からも夏ってわかるよ。・「おおきな くじら」からも！・でもくじらは夏以外もずっと海にいるよ。・「ざぶんと もぐる」っていうのは夏っぽい感じがするな。

- 次に、「なつ」同様「はる」「あき」「ふゆ」についても【きせつあてゲーム】をしながら、歌詞やその様子確かめていく。全ての季節をあてることができたら、みんなで正しく並べ替え、範唱CDに合わせて歌わせる。その際、音がとれていないところや子ども達が難しいと感じるところなどは全員で音を確認めたり、教師がハンドサインなどで示したりしながら歌わせる。

- さらに、「はる」の様子を歌で表現するためにどんな歌い方の工夫をすればよいか考えることができるよう、「はる」の歌詞の中から手がかりとなるキーワードをさがしたり、たんぼぼやわたげの様子をペープサートや身体表現で表したりする。また、どちらがより「はる」の様子を感じられるか教師の歌で聴き比べさせたり、交流を通して友達のいい所を真似したりしながら、「はる」の表現の工夫へとつないでいく。その際、身体表現が中心にならないように注意する。

- 最後に、本時の歌い方の工夫を思い出しながら、まとめとして「はる」を歌う。そして、次時は「なつ」「あき」「ふゆ」についても場面の様子にあった歌い方を工夫するということを確認する。

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p>1 楽曲「はる なつ あき ふゆ」と出会い、本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 「きせつあてゲーム」をしながら、楽曲と出会う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの季節かを感じ取ること ○ 季節の理由となる言葉を歌詞から見つけること <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標を明確にもつこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「はる なつ あき ふゆ」の きせつを みつけて うたおう。</p> </div> <p>2 それぞれの季節の様子を思いうかべて歌う。</p> <p>(1) 「きせつあてゲーム」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの季節かを感じ取ること ○ 季節の理由となる言葉を歌詞から見つけること <p>(2) 季節を正しく並べて、範唱 CD に合わせて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞を確かめながら歌うこと ○ 音程、発音に気をつけて歌うこと <p>(3) 「はる」の季節の様子を思い浮かべながら、工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ゆれる」や「ふわり」の様子に合った、歌い方の工夫をすること <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto;"> </div> <p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時表現への思いをもつ。</p> <p>(1) 本時学習のまとめとして、「はる」の様子を思いうかべながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ゆれる」「ふわり」に合う歌い方を工夫して歌うこと ○ やわらかい声、やさしい声でフレーズを感じながら歌うこと <p>(2) 本時学習をふり返り、次時学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時は「なつ」「あき」「ふゆ」についても場面の様子に合った歌い方を工夫することを確かめること 	<p>・興味をもって楽曲に出会うとともに、旋律をとらえ、歌詞の内容をつかませることができるように、「なつ」を聴かせて「きせつあてゲーム」をする。</p> <p>・歌詞に着目し、歌い方の工夫にもつなげることができるよう、「歌詞カード」を用意しておき、子ども達が見つけた季節の言葉を掲示しながら歌詞を完成させていく。</p> <p>・めあてにつなげることができるよう、「なつ」の歌詞を確かめた後、みんなで歌う。</p> <p>・「なつ」同様、ゲームをしながら「はる」「あき」「ふゆ」の季節をみつけ、歌詞を確かめた後、みんなで歌う。</p> <p>・音程に気をつけて歌うことができるよう、教師のハンドサインや身振りで確かめる。</p> <p>・歌い方の工夫につなげられるようにするため、「ゆれる」「ふわり」などの歌詞をキーワードとして着目させる。それらの様子をたんぼぼやわたげのペープサートを動かして表現させたり、身体表現をさせたりしながら、工夫を考えていく。</p> <p>・工夫が出てこない時には、教師の範唱を聴き比べさせる。</p> <p>・表現をより豊かにするため、聴き役をたてたり、グループごとに聴き合ったりと交流の場を設け、友達のいい所を取り入れさせる。</p> <p>※ 「はる」の様子を思いうかべて、歌い方の工夫を意識したり、体を動かしたりしながら歌っている。</p> <p>・考えた歌い方の工夫で歌うことができるよう、教師の伴奏で歌わせる。</p> <p>・「なつ」「あき」「ふゆ」も「はる」と同じ歌い方でいいのか考えさせるために、同じ歌い方で歌った教師の範唱を聴かせる。</p>